

Title	麻酔前投薬としてのラニチジン錠の効果： 塩酸ロキサチジンアセタートを対照薬とした二重盲検比較試験
Sub Title	
Author	野口, 純一(Noguchi, Junichi) 山村, 秀夫(Yamamura, Hideo) 天木, 嘉清(Amaki, Yoshikiyo) 川添, 太郎(Kawazoe, Taro) 小林, 建一(Kobayashi, Kenichi) 田上, 恵(Tagami, Megumi) 長野, 政雄(Nagano, Masao) 釘宮, 豊城(Kugimiya, Toyoki) 山本, 亨(Yamamoto, Toru) 川島, 紘一郎(Kawashima, Koichiro)
Publisher	共立薬科大学
Publication year	1989
Jtitle	共立薬科大学研究年報 (The annual report of the Kyoritsu College of Pharmacy). No.34 (1989.) ,p.87- 87
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	抄録
Genre	Technical Report
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062898-00000034-0087

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

麻醉前投薬としてのラニチジン錠の効果

——塩酸ロキサチジンアセタートを対照薬とした二重盲検比較試験——

野口純一*¹, 山村秀夫*², 天木嘉清*³, 川添太郎*⁴, 小林建一*⁵, 田上 恵*⁶
長野政雄*⁷, 釘宮豊城*⁸, 山本 亨*⁹, 川島紘一郎

ラニチジン錠の麻醉前投薬としての有用性をロキサチジンを対照薬として二重盲検比較試験により検討した。

- 1) 試験実施総症例数は230例で、ラニチジン群、ロキサチジン群各115例であった。そのうち解析対象例はラニチジン群108例、ロキサチジン群109例であった。
- 2) 胃液量、胃液 pH に対する効果判定では麻醉導入直後、抜管時および両者を合わせた総合判定のいずれにおいても両群間に有意差は認められなかった。
- 3) 概括安全判定においても両群間に有意差はなかった。
- 4) 有用度判定は「有用」以上がラニチジン群 90.7%、ロキサチジン群 89.9% であり、両群間に有意差は認められなかった。

以上の成績により、ラニチジン錠はロキサチジンと同等の効果を有し、麻醉前投薬として有用性が確認された。

* 本報告は『新薬と臨床』, 37 (11), 2091—2101 (1988) に発表。

*¹: 川崎市立川崎病院麻醉科, *²: 東京専売病院, *³: 東京慈恵会医科大学青戸病院麻醉科, *⁴: 埼玉医科大学総合医療センター麻醉科, *⁵: 東京慈恵会医科大学附属病院麻醉科, *⁶: 東京大学医科学研究所附属病院麻醉科, *⁷: 慶應義塾大学病院麻醉科 *⁸: 東京大学医学部附属病院麻醉科, *⁹: 日本大学医学部附属板橋病院麻醉科